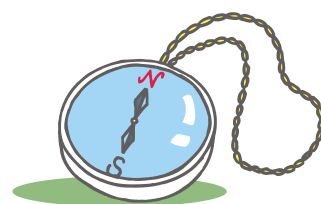


羅 針 盤

第 14 号

令和8年9月7日（月）



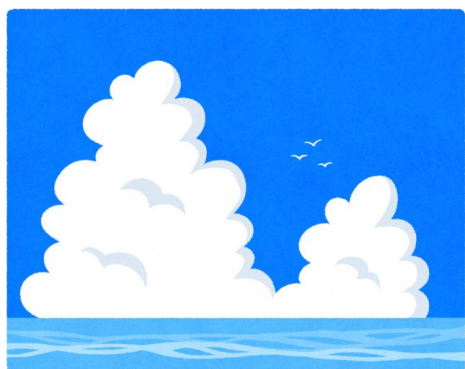
◆ 「あなたがこの世で見たいと願う変化に、あなた自身がなりなさい。」

「あなたがこの世で見たいと願う変化に、あなた自身がなりなさい。」この言葉は、インド独立運動の指導者であるマハトマ・ガンジーが残した有名な言葉です。人としてどうあるべきなのか？現代を生きる私たちに、社会に変化を求めるのではなく、まずは自分自身が理想とする変化を体現することによって、周りの人々や世界を変えることができるといったメッセージを伝えている言葉です。自分の外側だけを変えようとするだけでは世界はなかなか変化しないけれども、自分自身がその変化となることで、行動を促して、そして、世界を変えることができるという「行動の重要性」を説いた言葉でもあります。小さな行動を積み重ね続けることで世界を変えることができたガンジーが教えてくれているのは、「個人が持つ大きな力」のことで、どんな人でも周りの人たちの人生を変える力があることを私たちに気付かせてくれています。『「不満」や「攻撃」では、人も、世の中も変わることはない』と、そして、『自分が自分であることに誇りを持つ』ということや、『周りの人たちに期待する姿にあなた自身がなりなさい』といった、ガンジー自身が唱えたこの「生きた言葉」には、私たちに大きな勇気を与えてくれる力があるのではないのでしょうか。非暴力・不服従を貫き通して、インドを独立に導いたガンジー自身は、「言葉の持つ力」を信じて疑わなかった人です。ガンジーは、「良い人間関係は許すことから始まる」とも言っています。「許すこと」それは、人としての強さの証（あかし）とも言えるのではないのでしょうか。理不尽なことをされたら、相手に恨みを持つことは当然のことであり、ごく普通の感情です。そのような中でも、ガンジーが唱えたのは、相手を受け入れて許すということでした。誰でもが真似できるような簡単なことではないでしょう。それでも、良い人間関係を築くためには、「許すこと」がとても大切なことであり、それができる人こそが、本当に強い人であると彼は考え、その考えを貫き通すことで、非暴力によってインドを独立まで導いた彼の姿から、私たちは多くのことを学び取れるのではないのでしょうか。



◆ 台風一過（たいふういっか）

日本では7月から10月にかけて多くの台風が発生し、特に8月と9月は台風発生のパークとなる月であると言われています。先週の9月1日は「防災の日」でした。（1923年の関東大震災（大正12年9月1日）を教訓に、1960年に制定されました。）日ごろから、防災・減災の意識を持って、日常生活を過ごすことが



何よりも大切なことであることに気づかされる日ではないかと思います。ところで、皆さんは「台風一過」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。台風が過ぎ去った後に、空が晴れ渡り、快晴になることを指す言葉です。また、転じて騒動や波乱が収まり、晴れ晴れとした状況となる比喩としても使われます。残念ながら、今年の夏も、各地で災害や、時には予期せぬ出来事も起こってしまっています。日本だけに限ることではなくて、世界中が晴れ晴れとした状況であることを願わずにはられません。

